

子うぐいすと母うぐいす

小川未明

青空文庫

毎朝まいあさきまつて、二羽にわのうぐいすが庭にわへやつてきました。

「お母かあさん、きょうもまた、うぐいすがきましたよ。」

正しょうちゃんちゃんは、ガラス戸どから、こちらをのぞいていました。

「餌えをさがしにくるのです。」と、お母かあさんは、おっしやいました。

「母ははうぐいすと、子こうぐいすですね。」

「きつとそうでしょう。お山やまで生うまれた子こ供どもをつれて、冬ふゆになつたから里さとへきたのです。」

「かわいいな。」と正しょうちゃんちゃんは、見みていました。

うぐいすは、赤あかい実みのなつた枝えだに止とまったり、また常とき磐わぎ木あいだの間

をくぐつたりして虫をさがしながら、チャツ、チャツと、いつて鳴いていました。

「ああ、もういつてしまった。」と、正ちゃんがいきました。そのうちに、兄さんや、姉さんが、学校から帰ってきました。うぐいすの話が出ると、

「明日、うぐいすをとつてやろう。」と、兄さんがいきました。

「そんなことをするもので、なくつてよ。」と、姉さんが、いいました。

「上手に飼うと、三月ごろいい声で鳴くぜ。」と、兄さんが、いいました。

だまって、兄さんの話をきいていた正ちゃんは、うぐいすをか

ごの中なかに入れて、自分じぶんでかわいがって、飼かってみたくなりました。
「お兄にいさん、うぐいすをとっておくれよ。」と、正しょうちゃんは、頼たのみました。

「かわいそうだから、そんなことをしてはいけません。」と、お母かあさんが、おっしやいました。

「じゃ、僕ぼく、はとを飼かってもらおうよ。」

「いけません。」

「じゃ、犬いぬを飼かってくれる？」

正しょうちゃんは、なんとしやういってても、いうことをききません。

「よし、明日あした、うぐいすをとってやろう。」と、兄にいさんが、いいました。

「そんな約束やくそくをして、もしとれなかったら、また大騒おおさわぎですよ。」と、お母かあさんは、心配しんぱいなさいました。

「なに、僕ぼく、うまくとつてみせます。」と、兄にいさんは、正しょうちゃんに、約束やくそくをしました。

いよいよ翌よくじつ日のことでした。兄にいさんは、虫むしをかごの中なかへ入れて、うぐいすが、それを食たべに止とまると、上うえからふたの被かぶさるような仕掛しかけにして、これをつばきの木きの下したに置おきました。

みんなが、忘わすれていた時じぶん分、

「うぐいすがかかっている！」と、正しょうちゃんが、叫さけびました。兄にいさんはすぐに飛とんでいって、とつたうぐいすを別べつのかごの中なかに移うつしました。

「まだ、子供こどもだな。」と、小ちいさいいうぐいすを見みながら、兄にいさんがいいました。

「かわいそうだから、逃にがしてやってよ。」と、姉ねえさんが、いいました。

「逃にがしちやいけない。」と、正しょうちゃんが、ききません。

「おもしろいな、まだとれるぜ。」と、兄にいさんは、いまとつたうぐいすに餌えを造つくってやってから、またつばきの下したへ、捕とりかごを出だしておいたのです。

「なんで、そんなにとれるのですか。」と、お姉ねえさんが、いいました。そしてみんなが、ふろしきをかけた鳥とりかごを見みながら、かわいらしいなど話はなしをしていると、また、ばたばたといって、

ほかのうぐいすがかかったのであります。

捕りかごのところへ走つていった、兄さんが、

「大きい、母うぐいすだ。」と、いったときは、みんな、顔を見

合わせて「まあ。」といつて、ほかに言葉が出なかつたのであります。独り、正ちゃんだけは、うれしがって、

「二羽、いつしよにしておくといいね。」と、いつていました。

「ねえ、正ちゃん、子供をさがしにきて、お母さんもかかったのですよ。もし正ちゃんが人さらいにつれてゆかれて、それをさがしにいったお母さんもつかまったらどうしますか。」と、お母さんが、おつしやいました。

「かわいそうだから、逃がしてやろう。」と、すぐに、兄さんが、

いいました。そして、正ちゃんも、また、お母さんの話が、わかつたとみえて、

「こんど、ほかのをとつたら飼ってね。」と、いいました。

「さあ逃がしてやりますよ。」

兄さんは、みんなの前で、二羽のうぐいすの入っている、かごのふたを開けました。すると、みなさん、どちらが先に口から出たと思いますか？ 先に子うぐいすが出ました。母うぐいすがその後から逃げてゆきました。

「みんな、よく、いまのを見て？」と、そのとき、お母さんが、感心しながら、子供たちを見ておっしゃいました。

青空文庫情報

底本：「定本小川未明童話全集 10」講談社

1977（昭和52）年8月10日第1刷

1983（昭和58）年1月19日第6刷

※表題は底本では、「子《こ》うぐいすと母《はは》うぐいす」となっています。

入力：特定非営利活動法人はるかぜ

校正：酒井裕二

2015年5月24日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.w.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

子うぐいすと母うぐいす

小川未明

2020年 7月13日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>

※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。

<http://tokimi.sylphid.jp/>